

2022年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
演劇概論Ⅱ											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	平野真悟			実務経験	有	職種	演劇制作				
担当教員紹介											
専門学校卒業後、演劇俳優科・演劇スタッフ科教育補助員を経て、2002年より教員として勤務。高校演劇講習会では、美術班講師として参加。											
授業概要											
近代古典から現代へと変革していく西洋演劇の流れと、日本の演劇の始まりから現代演劇までを理解していく学術的に演劇を理解することにより、現場で必要とされる実践力へと結びつける											
到達目標											
近代古典、現代へと時代を追いながら、西洋の戯曲の構成や思想を考察していく神話の時代から、現代までの日本の演劇史を身につける											
授業方法											
毎回資料を配布し、劇作家、作品の解説を行う その後、その題材に即した映像を鑑賞し理解する											
成績評価方法											
試験	80%	筆記試験により評価									
成果発表	10%	ノート提出、授業内発表により評価									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業内で扱う作品を事前に読んでおくことが望ましい 授業中の私語や受講態度には厳しく対応する 理由のない遅刻・欠席は認めない 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 副読として『桜の園』を使用											
回数	授業計画										
第1回	チャーホフ										
第2回	チャーホフ②										
第3回	ブレヒト										
第4回	不条理演劇										
第5回	日本の芸能の始まり										

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
演劇概論Ⅱ	
第6回	宮廷芸能から庶民芸能
第7回	能楽
第8回	歌舞伎
第9回	歌舞伎②
第10回	歌舞伎③
第11回	歌舞伎④
第12回	歌舞伎～新劇へ
第13回	新劇
第14回	新劇②
第15回	新劇③
第16回	新劇以外の日本の芸能
第17回	アングラ演劇
第18回	小劇場
第19回	小劇場②
第20回	まとめ